

**1 学校教育目標**

人間尊重の精神を基盤にして、これからの変化する社会に主体的に対応して生きていくための豊かな人間性や、たくましい心身の育成を目指し、次の目標を掲げる。

- 自ら学び、すすんで努力する生徒                      ○ 他を思いやり、礼儀正しい生徒                      ○ 正しい判断力をもち、心身ともに健康な生徒

**2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像**

○学校像	○互いの人権を尊重し、優しさや思いやりの心にあふれる学校 ○確かな学力を育み、学ぶ楽しさを実感できる学校 ○地元綾瀬の一員として、地域に愛され、地域に貢献する学校
○児童・生徒像	○自らの生き方に自信のもてる生徒 ・自ら学び、根気強く努力する生徒                      ・礼儀正しい生徒 ○知・徳・体の調和のとれた生徒 ・自分も他の人も大切に作る生徒                      ・心身ともに健康な生徒
○教師像	○生徒を一人の人間として尊重し、こよなく愛す教師 ○組織の一員として、連携と協力体制を築く教師 ○保護者や地域と協働して、教育を推進する教師

**3 学校の現状及び前年度の成果と課題**

＜現状＞

- ・生徒は落ち着いて授業に取り組み、自分の将来の夢に向かって着実に努力している。
- ・地域の皆様や教員からの声掛けにより、大きな声で「あいさつ」ができる生徒が格段に増え、生徒の明るい声が行きかう学校となっている。
- ・行事等を通じて、生徒相互のかかわりを深め、よりよい人間関係を築くことが課題である。

＜前年度の成果と課題＞

- ・授業改善に向けた組織的な取組や生徒一人一人に応じた学力向上に対する取組が定着してきた。
- ・生徒いじめアンケートにおけるいじめの申告件数が前年度と比べて半減するなど、生徒に寄り添ったきめ細やかな指導が成果を上げつつある。
- ・生徒の自尊感情を高め、人権感覚のさらなる高揚を図ることを目指して教育活動を推進していきたい。

**4 重点的な取組事項**

	内 容	実施期間（年度） R:令和				
		R1	R2	R3	R4	R5
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成（東京都教育委員会 人権尊重教育推進校）	○	○	○	○	○

## 5 令和3年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)		実施結果 (通過率結果)		コメント・課題		達成度 ◎○△●	
「主体的・対話的で深い学び」の実現と学力の定着		・年度末実施の到達確認テストの正答率各学年 60%以上		年度末確認テスト通過率 以下参照		確認テストにおいて、目標はおおむね達成できた。今後、さらなる学力向上・定着を図る。		◎	
B 目標実現に向けた取組み									
新・継	アクションプラン	対象・実施教科	頻度・実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継 続	授業力向上	全生徒 全教科	通年 年 1 5 回	<ul style="list-style-type: none"> <li>①小中連携による授業研究 (年 7 回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「人権尊重」の視点及び足立スタンダードに基づく授業改善</li> </ul> </li> <li>②校内授業研究 (年 2 回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・単元を見通した授業改善</li> </ul> </li> <li>③管理職による授業観察 (年 2 回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業観察時に全教員が学習指導案を作成</li> <li>・管理職による授業評価</li> </ul> </li> <li>④授業見学週間の実施 <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員相互による授業評価</li> </ul> </li> <li>⑤都教育委員会訪問 <ul style="list-style-type: none"> <li>・全教科毎に指導主事を招聘し、授業研究を実施</li> </ul> </li> <li>⑥生徒による授業アンケートの実施 (年 2 回) <ul style="list-style-type: none"> <li>・説明のわかりやすさ等について全生徒が回答</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年度末到達度確認テストによる検証</li> <li>②次年度区学力調査による検証</li> <li>③生徒授業アンケートによる検証</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年度末到達度確認テストの正答率各学年 60%以上</li> <li>②令和 4 年度区調査通過率各学年 70%以上</li> <li>③生徒授業アンケートの数値全項目 10%以上向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①年度末到達度確認テスト 1 年 国 73.5%、数 51.5% 英 62.3%</li> <li>2 年 国 75.6%、数 67.2% 英 64.7%</li> <li>③生徒授業アンケート (前年度比) <ul style="list-style-type: none"> <li>・「先生の説明は分かりやすい」5.6%増</li> <li>・「先生の授業は生徒同士での学び合いやグループ活動を積極的に取り入れている。」81.3%と回答しており、足立スタンダードに基づく授業は概ね実現している。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「先生の説明は分かりやすい。」94.4%、「目標を明確にしている。」95.0%、「毎時間まとめを行っている。」85.0%、「知識や技能を身に付けることができる。」95.3%、「発言や発表の機会を取り入れている。」78.3%、「学びあいやグループ活動を積極的に取り入れている。」81.3%と回答しており、足立スタンダードに基づく授業は概ね実現している。</li> </ul>	◎

別紙 1

2 継 続	ICT の活用	全生徒 全教科	通年	①クロームブックの有効活用 ②デジタル教科書の活用 ③モニター機能の活用	① 管理職による授業観察 ②生徒授業アンケート	① ICT機器を活用して授業を行った教員が100% ②生徒授業アンケートで、有効に活用されたとする回答 80%以上	① ICT機器を活用している教員は100% ② ICT機器の授業での活用について肯定的回答群の割合は60.7% ③アンケートをクロームブックで実施	次年度は、AIドリル（人工知能を活用した学習ソフト）が区内全校に本格導入されることから、十分に活用できるように取り組んでいきたい。	◎
3 継 続	家庭学習の充実	全生徒 国語 社会 数学 理科 英語 を中心として	通年	家庭学習課題の充実及び家庭学習の習慣化	①保護者による学校評価 ②生徒授業アンケート	①保護者による学校評価で「家庭学習に関する指導が充実している。」とする回答80%以上 ②生徒授業アンケートで「家庭学習の指示がわかりやすい」とする回答80%以上	①「家庭学習に関する指導が充実している。」とする回答は61.5% 昨年度同調査の数値49%よりは向上しているが、依然として課題となっている。	AIドリルを活用して、生徒の自立的に学習する態度を育み、家庭学習の充実を図りたい。	○
4 継 続	サマースクール	全生徒 数学 英語	夏季 休業日 中の 7日間	基礎学力の定着及び学習の習慣化、学習意欲の向上	事前テスト 事後テスト	最終日に事後テストを実施し、正答率10%以上上昇	事後テストでは、全生徒15%程度の伸びを確認した。	次年度も、生徒のニーズに合わせたサマースクールを実施していきたい。	○
5 継 続	放課後補充教室	国語 社会 数学 理科 英語 その他	通年	①基礎学力の定着を図る講座 ②定期テスト対策 ③発展的な内容に関する講座 生徒の学力及び興味・関心に応じて開設	①年度末到達度確認テストによる検証 ②次年度区学力調査による検証	①年度末到達度確認テストの正答率各学年60%以上 ②令和4年度区調査通過率各学年70%以上	①(再掲)確認テスト1年 国73.5%、数51.5% 英62.3% 2年 国75.6%、数67.2% 英64.7%	数学を中心に、AIドリルを活用して補充教室を実施した。生徒の自主的な学習の推進に成果があった。	○

重点的な取組事項－ 2		豊かな心の育成（東京都教育委員会 人権尊重教育推進校）			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒の自尊感情・自己肯定感 ・ソーシャルスキルの向上		生徒いじめアンケートにおける いじめの申告件数を前年度より縮減	いじめの認知件数は前年度比で 約 40%縮減した。	いじめを見逃すことが ないよう、十分注意し て対応していく。	◎
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
Hyper-QU の有効活用 による生徒理解の深 化及び学級指導の改 善・充実	・ Hyper-QU 第 2 回調査 時に「学級生活に満足し ている」と回答している 生徒割合を第 1 回調査 時よりも向上させる。	①Hyper-QU 実施時における研 修会及び事例研究（年 2 回）  ②具体的な取組及び調査によ る成果検証	①Hyper-QU 第 2 回調査におけ る学級生活満足群 49% （全国平均 41%） 【本校第 1 回調査時 41%】	数値の向上は見られた が、満足していない生 徒が多数いることか ら、指導の改善を図 っていききたい。	○
教育相談の充実	・ 不登校生徒の出現率 を前年度比 1%縮減  ・ 学校と関わりのもて ない生徒を根絶	①担任教員による 2 者面談及 び全教員による教育相談実施 （各 1 回以上）  ②教育相談部会の定例実施 （週 1 回）	① 2 者面談及び教育相談を計画通 り実施  ②不登校の出現率は 1%程度 縮減した。	次年度は、ICT 機器 の活用等により、不登 校生徒に対する個別の 学習支援の充実を図 っていききたい。	○
PBS（ポジティブ な行動支援）による 生徒の自尊感情・自 己肯定感・ソシヤ ルスキルの向上	・ Hyper-QU 第 2 回調査 時に「友人に認められて いる」と答えた生徒割合 を第 1 回調査よりも向 上させる。  ・ Hyper-QU 第 2 回調査 時にソーシャルスキル に関する数値を第 1 回 調査よりも向上させる	①足立区教育委員会による研 修  ②生徒会による新たな「目指 す学校像」策定  ③開かれた学校づくり協議会 ボランティアカード等を活用 したポジティブな行動支援	①開かれた学校づくり協議会ボラ ンティアカード等を活用  ②足立区生徒意識調査 （4 月実施→1 月実施） 「学校に行くのが楽しい。」 76.6%→86.7% 「自分には良いところがあると思 う。」64.3%→72.1% 「学級の人から感謝されることが ある。」49.5%→74.1% 「難しいことでも、失敗を恐れな いに取り組んでいる。」 55.8%→71.2%	4 月に足立区立全小・ 中学校で実施した足立 区生徒意識調査では、 本校生徒の数値は区平 均を下回っていた。し かし 1 月に同じ質問項 目で本校独自に実施し た調査では、すべての 質問で区平均を上回 っており、生徒の自尊感 情は向上していると思 われる。	◎

## 6 まとめ

### (1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

#### 重点的な取組事項－1 学力向上アクションプラン

##### 〈成果〉

- ・本年度は、足立区教育委員会より「英語教育推進校」及び「数学教育推進校」の指定を受け、数学・英語の授業改善を推進した。
- ・数学においては、数学に関する生徒授業アンケート全設問で肯定的回答群が増加した。また、第1・2学年の全生徒がAIドリルを活用し、学力向上を図った。
- ・英語においては、本校独自で全学年共通の指導方法「東中メソッド」を開発・実践し、全学年の授業改善を推進するとともに、実践発表会において、区内全小中学校にその成果を周知した。また、生徒授業アンケート全設問において肯定的回答群が増加するとともに、英検IBAで目標値を大きく上回る数値を得た。
- ・国語、数学、英語ともに、年度末到達度確認テストの達成目標はおおむね達成できた。
- ・校内研修を年間10回、うち研究授業を3回実施し、授業改善を図った。生徒授業アンケートでは、すべての教科・項目で前年度または前回調査の数値を上回るなど、一定の成果を得た。

##### 〈課題〉

- ・「楽しい授業」という視点からの授業改善に課題がある。生徒が「楽しい」と感じる授業づくりを推進していきたい。
- ・次年度は、AIドリル(人工知能を活用した学習ソフト)が区内全校に本格導入されることから、十分に活用し、学力の向上を図っていく。

#### 重点的な取組事項－2 豊かな心の育成

##### 〈成果〉

- ・「学校に行くのが楽しい。」「自分には良いところがあると思う。」「学級の人から感謝されることがある。」「難しいことでも、失敗を恐れずに取り組んでいる。」などの質問項目で大幅な数値の上昇が見られるなど、生徒の自尊感情が向上したように思われる。
- ・生徒いじめアンケートにおけるいじめの申告件数は、昨年度に比べて40%縮減した。
- ・SC(スクールカウンセラー)やSSW(スクールソーシャルワーカー)との連携により、専門的な見地からの指導・対応を進めた。

##### 〈課題〉

- ・生徒や各ご家庭とのつながりを深め、年間30日以上欠席生徒の人数をさらに縮減していきたい。
- ・いじめの根絶を目指し、生徒の心に寄り添った指導をさらに徹底していきたい。

### (2) 保護者や地域へのメッセージ

今年度もコロナ禍のため、お子様に様々な制約のある中での学校生活をお願いせざるを得ない状況となりました。このような状況下においても、お子様は常に一生懸命に、しっかりと学習や様々な活動に取り組んでくれました。これもひとえに、保護者・地域の皆様のご理解ご協力、ご支援、お力添えのおかげです。改めて、心より御礼を申し上げます。

令和4年度、本校は東京都教育委員会人権尊重教育推進校2年次の研究を進めていきます。「互いの人権を尊重し、優しさや思いやりの心にあふれる学校」「確かな学力を育み、学ぶ楽しさを実感できる学校」「地元綾瀬の一員として、地域に愛され、地域に貢献する学校」を目指して、教職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後とも、お力添えのほど、どうぞよろしくお願いいたします。

### (3) その他(学校教育活動全般について)

次年度5月連休に、現在綾瀬小学校が使用しております仮校舎に移転します。令和6年9月に竣工予定の新校舎において、お子様が社会で活躍する2030年を見据えた、足立区における「令和の日本型学校教育」を実現できるよう教育活動全般の改善・充実を図ってまいります。